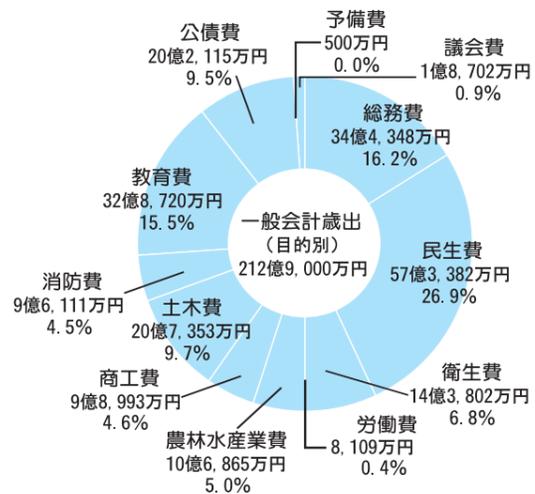


【一般会計歳出グラフ】

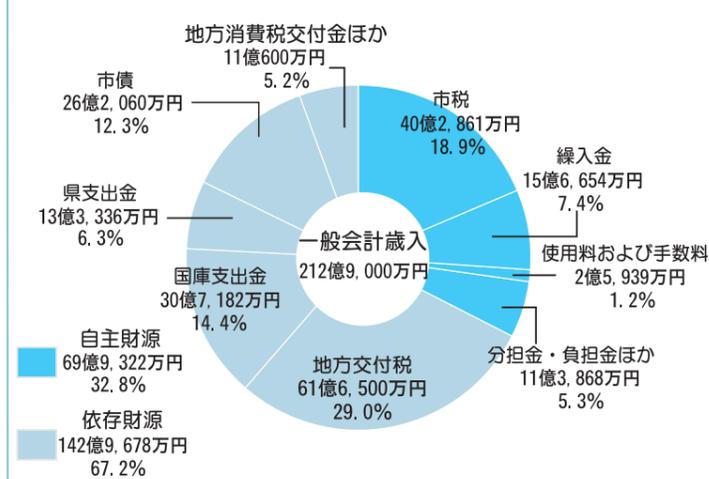


【一般会計歳出予算】

目的別	3年度予算額	2年度予算額
議会費	1億8,702万円	1億8,678万円
総務費	34億4,348万円	40億2,458万円
民生費	57億3,382万円	59億5,852万円
衛生費	14億3,802万円	15億3,826万円
労働費	8,109万円	1億1,283万円
農林水産業費	10億6,865万円	11億2,633万円
商工費	9億8,993万円	8億2,604万円
土木費	20億7,353万円	32億4,121万円
消防費	9億6,111万円	10億5,632万円
教育費	32億8,720万円	17億2,393万円
公債費	20億2,115万円	20億4,455万円
諸支出金	0円	0円
予備費	500万円	500万円
災害復旧費	0円	4億2,065万円
計	212億9,000万円	222億6,500万円

※令和2年度、3年度とも諸支出金の予算額は1,000円です。

【一般会計歳入グラフ】



【一般会計歳入予算】

	3年度予算額	2年度予算額
市税	40億2,861万円	41億6,134万円
地方譲与税	2億円	1億9,300万円
利子割交付金	300万円	300万円
配当割交付金	700万円	700万円
株式等譲渡所得割交付金	400万円	700万円
法人事業税交付金	4,000万円	3,000万円
地方消費税交付金	7億9,300万円	7億3,000万円
自動車取得税交付金	0円	0円
環境性能割交付金	800万円	2,600万円
地方特例交付金	4,600万円	1,000万円
地方交付税	61億6,500万円	67億3,152万円
交通安全対策特別交付金	500万円	500万円
分担金および負担金	4,871万円	6,234万円
使用料および手数料	2億5,939万円	2億3,874万円
国庫支出金	30億7,182万円	23億4,784万円
県支出金	13億3,336万円	14億6,570万円
財産収入	9,709万円	1億605万円
寄附金	1億8,040万円	1億30万円
繰入金	15億6,654万円	30億9,060万円
繰越金	2億円	4億円
諸収入	6億1,248万円	6億4,797万円
市債	26億2,060万円	19億160万円
計	212億9,000万円	222億6,500万円

※令和2年度、3年度とも自動車取得税交付金の予算額は1,000円です。

■用語説明

- ▽地方交付税Ⅱ所得税や法人税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況や特別の財政需要に応じて交付されるお金
- ▽東日本大震災からの復旧・復興事業の市負担分や市税の減収分なども交付されます。
- ▽国庫支出金・県支出金Ⅱ補助金など特定の目的の財源として国や県から交付されるお金
- ▽市債Ⅱ市が施設や道路などの建設を行うために調達し、計画的に返済するお金
- ▽扶助費Ⅱ介護・訓練等給付費、ひとり親家庭医療費、生活保護費など
- ▽公債費Ⅱ市が施設や道路などの建設のため借り入れしたお金の元金、利子の返済金
- ▽普通建設事業費Ⅱ道路、橋、学校施設などの新増設の建設事業に要する経費
- ▽災害復旧事業費Ⅱ降雨、地震および津波などの災害によって被害を受けた施設の原形復旧に要する経費

新しい総合計画のもと、地域力向上による未来志向予算

▷予算に関する問い合わせ先＝財政課財政係(☎内線224)

令和3年度 予算について

令和3年度予算は、新たに始まる総合計画、そして、将来都市像「ともに創る やすらぎに生まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」の実現を目指し、限られた財源の重点的かつ効果的な活用を図ります。また、地域資源を十分に生かしながら、生産性の向上や所得向上を主眼とした新たな産業の展開、地場産業の振興などにより、仕事を創り、持続可能な地域社会の構築を目指すための予算となっております。

市の予算は、一般会計、魚市場事業や介護保険などの6つの特別会計、簡易水道事業や下水道事業などの3つの企業会計から成り立っています。各会計の予算額は【予算額総括表】のとおりです。

前年度予算との比較

一般会計は、防災集団移転促進事業や被災市街地復興土地区画整理事業などの復興関連事業の完遂に伴う減などにより、前年度予算を9億7,

500万円下回り、前年度比4.4%の減になりました。特別会計は、国民健康保険(診療施設勘定)の越喜来診療所内視鏡システム購入費の増などにより0.1%の増、簡易水道事業会計は、浄化槽等施設の機械電気計装設備更新工事費の増などにより8.9%の増、下水道事業会計は、公共下水道事業の処理場建設改良費の減などにより13.0%の減、水道事業会計は企業債償還金の増などにより1.4%の増となり、全会計の合計額では、3.3%の減となりました。

令和3年度 歳入について

歳入は、自主財源の確保と復興交付金などの国・県補助制度の有効な活用を図りました。一般会計の歳入の内訳をみると、地方交付税が全体の29.0%を占め、次いで市税(18.9%)、国庫支出金(14.4%)、市債(12.3%)と続きます。

前年度と比較した主な歳入
▽市債Ⅱ第一中学校改築等事業などの増により、7億1,900万円(△36.0%)の減。

900万円(△37.8%)増
▽国庫支出金Ⅱ公立学校施設整備費負担金などの増により、7億2,398万円(△30.8%)の増。

令和3年度 歳出について

歳出は、優先度・緊急度に配慮した事務事業を選択しました。一般会計の歳出を目的別にみると、民生費の割合が最も多く26.9%、次いで総務費(16.2%)、教育費(15.5%)、土木費(9.7%)と続きます。

前年度と比較した主な歳出

▽教育費Ⅱ第一中学校改築等事業などの増により、15億6,327万円(△90.7%)の増。
▽総務費Ⅱ旧大船渡消防署・旧崎浜小学校外施設解体事業完了などにより5億8,110万円(△14.4%)の減。
▽土木費Ⅱ赤崎地区道路新設・改良事業の進捗などにより、11億6,768万円(△36.0%)の減。

■予算額総括表

会計区分	令和3年度	令和2年度	増減率
一般会計	212億9,000万円	222億6,500万円	△4.4%
特別会計	2億5,535万円	2億3,427万円	9.0%
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,230万円	1,331万円	△7.6%
介護保険特別会計(保険事業勘定)	42億4,302万円	42億8,297万円	△0.9%
後期高齢者医療特別会計	4億7,698万円	4億6,600万円	2.4%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	43億630万円	43億682万円	△0.0%
国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	2億7,563万円	2億5,791万円	6.9%
小計	95億6,958万円	95億6,128万円	0.1%
企業会計	4億5,315万円	4億1,600万円	8.9%
簡易水道事業会計	20億5,438万円	23億6,077万円	△13.0%
水道事業会計	16億6,471万円	16億4,199万円	1.4%
小計	41億7,224万円	44億1,876万円	△5.6%
合計	350億3,182万円	362億4,504万円	△3.3%